

86/BRZ Race 2019

Round6 岡山国際サーキット

2019.10.17-20



2019 Autumn
Okayama International Circuit
86/BRZ Race Rd.6

一六RACING Report
From Race Team Vol.4

10.17 (Thu)

練習走行



今回の舞台となる岡山国際サーキットは、全長3,703mと他の国際規格のサーキットと比べると大きさはないものの、非常にテクニカルなサーキット。それにより、観客席からコースまでの距離が近く、1カ所からたくさんのコーナーを見ることができるのがこのサーキットの魅力。

毎回のことだがレースウィークの朝は早い。7時50分からの走行に合わせてホテルを6時に出発。この日の天候は晴れ。ドライバーにとっては、これまでに何度か走行経験があるため、走りにも少し余裕があるようにも感じられた。ただ実際は、タイムを上げるために非常に細やかな運転の操作が必要となるため、ドライバーに余裕はあまりなかったようだ。

10.18 (Fri)

練習走・占有走行



この日は小雨が降る中の作業・走行となった。何気に岡山のウェット路面は初体験。狭いエスケープゾーンに気を使いながら、クルマを滑らさないように慎重にアクセルを開けていく。ドライ路面とウェット路面ではタイヤの空気圧の少しの違いで、クルマの挙動が大きく変わる。刻々と変わる路面状況の中、その時の路面に合うベストな空気圧を見つけるべく、確かめながらの走行が続いた。走行後、翌日の車検に備えて整備をしている最中、この日1番の大雨が降り始める。着ている雨具も役に立たないくらいの雨が降る中、遅くまで懸命の作業が続いた。

10.19 (Sat) 予選



いよいよ予選の日。その前の車検に備えホテルを6時に出発。
この日の天気は曇り、そのせいか外は真っ暗な状況であった。サーキットに着くと、前日の雨の影響で路面の状況はウェット。車検を無事済ませ、予選アタック開始。ウェットとドライが入り混じる路面状況にギリギリまで、空気圧の設定を話し合った。
これが功を奏したのか、42台中18番手とまずまずの順位につけた。

10.19 (Sat)

決勝 1heat



午前中の予選を終え、空は晴れ間も見え始めた。ウェットのセッティングをドライへ変更し、出走前のグリッドに着き12週のレースがスタート！

しかし、いきなりスタートに失敗して順位を落としてしまう。何とか取り返そうとするが、前後左右に車両が団子状態で抜くに抜けない。その矢先、前方の車両2台がコースアウト、内1台はクラッシュで走行不能となった。周回を重ね徐々に車両の間隔が開いていくが、高村の運転する86の前後3台がテールトゥノーズの状態ではレースが白熱していた。

1度バックストレートで、スリーワイド(3台が横並びになること)となる場面もあった。その直後のコーナーで外に弾き出されてしまうが、何とかコースに戻ることができた。1ヒート目はそのままの順位でチェッカー。22位で1ヒート目を終えた。

10.20 (Sun)

決勝 2heat



泣いても笑っても今年のレースは今日が最後。応援団も無事到着し、昨日とは打って変わって和やかな雰囲気の前レースの様子であった。応援団に見送られながら86がグリッドへ向かう。昨日の1度レースを終えていることもあってか、昨日程の緊張はドライバーにはない様子。そしてレースがスタート。各車一斉に飛び出し、しばらくの間混戦が続く。

レースも終盤に差し掛かった時、トップ争いの集団がクラッシュ。その後、後方の車両にもクラッシュがあり、荒れたレースとなったが、高村は安定した走りで3つ順位を上げ、第2ヒートを19位でフィニッシュ。2019年シーズン最終戦を無傷で完走し終えた。

また、第1ヒート・2ヒートを合わせた総合順位は18位。これにより特別表彰「ルーキー賞」を獲得した。

※ルーキー賞は、2018年1月以降に国内Aライセンス(レースに出場できるライセンス)を取得したドライバーの中で、最高順位のドライバーに与えられる賞のこと。

まずは今年一年間、86/BRZレース参戦に各店舗、本部ともに理解と協力いただきましたこと、心から御礼申し上げます。

また、今回は最終戦であり、岡山開催ということで沢山の方々に応援に来ていただき、実際にレースであったりサーキット場の雰囲気味わってもらえたこと本当に嬉しく思います。

そして、前回の富士では残念ながらリタイアしてしまった高村選手も初めての岡山でのレースで、予選と決勝2レース戦うという状況の中、冷静にドライビングし、ルーキー賞を受賞という結果を残してくれたことは素晴らしいと思います！

とは言え、GRの西山君も毎回違うメンバーでのレース参戦ということで難しい環境でもメカニックをまとめてくれたり、いいクルマに仕上げてくれることで初めてドライバーが安心してレースに臨めるのだと毎回感じます。

来シーズンに向けてはこれからしっかりと考えていきますが、当社50周年記念事業としての86/BRZレース参戦が成功したことと、社内のクルマファンがこれからも増えるように来シーズンのサポートをよろしくお願いします。

チーム代表 玉置 竜



一六Racing チームアドバイザー 川端 伸太朗

今回は最終戦という事で2019年の集大成。

ドライバーの仕事はマシンを安全にゴールへ運ぶ事ですが、大混戦の86レースではこれが簡単な事ではありません。

前戦の富士で高村ドライバーは追突されリタイヤしている事もあり、今回の絶対条件である「完走」を目標に戦いました。

前走車よりもペースが良く、抜けるのに我慢しなければならない場面もあり、平常心を保つのは難しいレースだったと思いますが、見事に完走してくれた上に、ルーキー賞まで獲得。チームの皆を笑顔にしてくれました。

一六レーシングに新加入の3名のエンジニアも、コロコロ変わる天気の中臨機応変にメンテナンスをこなし、車を整備するプロとして一回り成長してくれたと思います。2019年度の86レースはこれで終了となります。

イベントに加え、チーム発足の1年半前からネッツトヨタ愛媛「一六レーシング」の一員として一緒に活動させて頂きましたが、レースを通じての人材育成は本当に素晴らしいプロジェクトになって来ていると思います。

今後共、一六レーシングを暖かく見守って頂き、応援を宜しくお願い致します。

ドライバー DRIVER

GR Garage 松山 高村 浩平



まずは1年間を通して応援してくださった皆様にお礼申し上げます。毎回、レースが終わるたびにホッとしています、今回が一番ホッとしたような気がします。岡山戦は2019年シリーズの最終戦、さらには愛媛から一番近いサーキットが舞台ということで、たくさんのスタッフの方々が応援に駆けつけてくださいました。また、GR Garageへいつもお越しくださっているお客様も応援に来てくださり、とても嬉しかったです。皆様の応援がプレッシャーに感じる部分もありましたが、そのおかげで「絶対にリタイヤできない。絶対に完走しないといけない。」と強く思えました。最終戦ということもあってか、どのクルマも気合十分な状態で、全クラスを通してクラッシュする車両も多かった印象です。私もレース中危ない場面が何度もありましたが、“クルマを安全に速く目的地に届ける”というドライバーの仕事を遂行すべく最後まで走り切りました。結果として「ルーキー賞」という特別賞をいただくことができ、2019年シリーズを良い形で終えることができたのも良かったです。

1年間戦い抜いて、得られた経験や課題がたくさんありますので、そういったものを来年以降活かしていき、“一六RACING”という活動をより良い活動にしていきたいと思っておりますので、これからも応援や積極的な活動への参加をよろしくお願い致します。
ありがとうございました！

メカニック

MECHANIC

チーフメカニック

GR Garage 松山 西山 大智

今大会で2019年シーズンが終わり、最終戦は無事完走することができました。今回も雨に降られ、岡山国際サーキットでの雨というのは初めてでしたし、パドックからピットエリアへの移動も、車を使用しないとできない距離で、今までにないものとなり戸惑うこともありました。

ドライバーはレース中も周りに気を向ける余裕が出てきたようで、メカニックから見えないところで3台横並びと、気の抜けないシーンもあったようですが、

ピットから見る分には車に問題がなければ完走できるなという安心感のある走りだったと思います。今年一年はレースに出ることで精いっぱいの部分がありました。5戦出場した86レーシングは今後はおそらく故障なども出てくると思います。来年はドライバーのレベルアップに対応できるようメンテナンスやマシンセッティングにもっと力を入れていきたいと思っています。



J.Spot小松 寺尾 大輔

今回初めて86/BRZレースに参加させてもらいました。本格的なレースは未経験な為、不安いっぱいでしたがレースウィークに入ると周りのチームの雰囲気になんとか緊張しながら車の整備をしました。ミスが無いように何回も見直し、ドライバーの高村くんが安心して運転出来るように毎回走行から帰ってくる度にしっかり整備をし、決勝もトラブルなく無事完走出来てとても嬉しかったです。今回の経験を忘れず普段の仕事にも活かしていきたいと思っています！



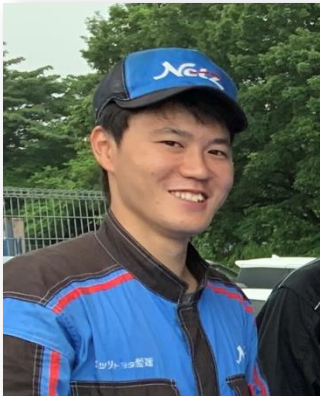
J.Spot三島 長浦 雄介

86レース第8戦に参加させて頂きありがとうございました。参加させて頂き大変貴重な経験、有意義な時間を過ごせたと感じます。まず、参加させて頂いた感想としては86レース最高に楽しかったです。

サーキットの雰囲気や普段とは違う環境での整備、緊張感のあるピット等普段では経験できない事を多くさせてもらえました。強く感じた事は整備する場所、車の使用用途、お客様が違ってもエンジニアができる事は安心して安全な車をお客様(ドライバー)のために整備するという事だと感じました。

そのためには基本作業の徹底から工具の選択まで色々な事を考えて整備に取り組む必要があると考えます。また、どれだけ自分が満足した整備をしてもお客様の思いに応える事が出来ないのであればそれは本当にお客様に満足して頂ける整備ではないのかもしれませんが。お客様から求める事をしっかり理解し、お客様が本当に満足 of いく整備を提供したいと思います。レースに参加させて頂いて得た多くの気づきを後輩達にしっかりと伝えていきます。私個人だけのレベルアップではなく後輩達全員がレベルアップしお客様に満足していただける安心、安全な車をお届けしたいと思います。

貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。



J.Spot空港通 橋田 直樹

今回で3回目の86レースにメカニックとして参加させていただきました。今回も頼もしい先輩方がいてくれたおかげもあり作業がスムーズに終われたと思います。

ただ、前回の富士と同様に天気に悩まされました。雨が降ったり止んだり、路面も濡れたり乾いたりと走行をする毎に変わるので、その時のセッティングが合わないタイムが出ないため、どのように天気が変わるかを川端さんと雨雲レーダーを見ながらタイヤの空気圧を考えるなど難しくもあり楽しいところでもありました。

今回は2レース制でしたが、無事に無傷で完走できたことは大変良かったです。

愛媛からもたくさん応援の方が来ていただいて大変嬉しかったです。車に興味のない方でも1度レースを見ると「車ってこんな動きするんだ！車ってすごい！」と感心していただけると嬉しいです。是非1度レースを見に来てほしいと思います。

J.spot来住 埜々下 宜希



今回初めてレースに参加させていただきました。
普段行わない作業や、限られたスペースでの作業は緊張と不安で頭がいっぱいになりましたが、他店舗のエンジニアの方達に助けられながら無事作業を行なうことができました。
しかし、サーキット上では他の車がクラッシュしたりヒヤッとする場面は何度かありました。
結果は無事にレースを終えることができたので、とても安心しました。
モータースポーツ内でのピットスタッフの仕事というのは注目されることは少ないですが、体験してみないと分からない事が数多くありました。
特に作業がものすごく繊細でなければならないので、とても大変でしたが人生の貴重な経験のひとつとなりました。

庶務係 SUPPORT

N-ReBORN推進室 五嶋 一郎

今回もGRガレージブログを中心に動画も貼り付けながらのレポートでしたが、岡山国際サーキットはパドックの位置がコース中央にあったため、富士スピードウェイに比べ撮影しやすい場所でした。また今回は応援の皆さんが駆けつけてくれた事も、ドライバーはじめチームの皆の大きな力になりました。
今後も見て下さる皆さんが、一緒に予選を乗り越えて、一緒に決勝レースを迎えられる気持ちになれる様な伝え方をしたいと思います。



GALLERY





GALLERY





GALLERY



End of season
Look forward to next season.

